

D. D グラマー		248000			
		担当部署			
FDPD dim		血液			
<b>検査オーダー</b>					
患者同意に関する要求事項		特記事項なし			
オーダーリング手順	1	電子カルテ→指示①→検査→*1.頻用→			
	2	電子カルテ→指示①→検査→*2.分野別→血液学→			
	3	電子カルテ→指示①→検査→*3.緊急→			
	4				
	5				
検査に影響する臨床情報		<ul style="list-style-type: none"> <li>・検体により検体中の目的成分以外の物質との反応や妨害反応が生じることがある</li> <li>・採血がスムーズに行われなかった血漿検体では偽高値を生じることがある</li> </ul>			
検査受付時間		緊急対応（24 時間）			
<b>検体採取・搬送・保存</b>					
患者の事前準備事項		採血はなるべく朝の空腹時に行う。			
検体採取の特別なタイミング		特記事項なし			
検体の種類		採取管名	内容物	採取量	単位
1	全血	2 黒小	3.2%クエン酸 Na	1.8	mL
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
検体搬送条件		室温			
検体受入不可基準		<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 採取容器違いの検体</li> <li>2) 凝固検体</li> <li>3) 乳び検体</li> <li>4) 採血量過不足の検体</li> <li>5) サンプルングできない検体</li> </ul>			

保管検体の保存期間	室温・当日中（追加検査については、検査室に要問合せ）					
<b>検査結果・報告</b>						
検査室の所在地	病院棟 3 階 中央検査部					
測定時間	当日中					
生物学的基準範囲	0～1μg/mL EX 共通 CL1084 : 「三輪血液病学 2006」					
臨床判断値	設定なし					
基準値					単位	μg/mL
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値	
0	1	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	
パニック値	高値	設定なし				
	低値	設定なし				
生理的変動要因	特記事項なし					
臨床的意義	二次線溶亢進の分子マーカーとして有用性の高い検査である。生体内にフィブリン血栓が存在した証明となる。 EX 共通 CL1084 : 「三輪血液病学 2006」1992-1993					